



放課後の体験活動について

- 1 長野県立大学によるプラン施設での体験活動
- 2 放課後子供教室
- 3 放課後ハイブリッド探究教室事業

ながの子育て
応援キャラクター

サイまる



こども未来部こども政策課



1 長野県立大学によるプラン施設での体験活動

令和4年度から長野県立大学の先生方と学生の皆さんに、プラン施設での体験活動を充実したものにするために、各種の活動を実施いただいています。

1 体験活動内容

令和4年度	1 火を使わない、安全にできる食事作り
	①缶詰クッキング「おにぎらず」「トライフル」
令和5年度	1 簡単にできる食事作り
	①「ロールパンサンド」「かぼちゃプリン」
	②缶詰クッキング「おにぎらず」「トライフル」
	2 体験したことがない生魚の調理
	①「あじの南蛮焼き」「フルーチェ」
	3 タブレットで音楽表現遊び
	①大型絵本「めっきらもっきら どおんどん」の読み聞かせ オリジナル曲作り
	4 MESH(簡単にプログラミングできる道具)でプログラミンが体験
①いろいろな機能を組み合わせて、「どんなことができるか」やって体験	

1 体験活動内容（続き）

令和6年度	1 MESH(簡単にプログラミングできる道具)でプログラミング体験
	①いろいろな機能を組み合わせて、「どんなことができるか」やって体験
	2 簡単にできる食事作り
	①「カレーとナン」 「ラッシー」 ②缶詰クッキング 「おにぎらず」 「トライフル」

2 成果と来年度の計画

成

果

- ① 土曜日および長期休業中に自分たちで昼食、おやつを調理して、皆でおいしく食べることができた。学生の皆さんにかかわってもらい、いつもと違う一日になった。
- ② プログラミングで遊べる道具を使って、「こんなことはできないか」と自分で課題をもって取り組むことができた。

来年度の計画

- ① 長野県立大学と令和7年度の実施活動について打合せの上、実施内容、実施時期、参加児童数等を児童センター・子どもプラザ・学校と調整・実施する。

令和5年度 長野県立大体験活動報告
3/19 豊野東子どもプラザ
参加児童 40名
指導者 瀧日准教授(三重大学)
中山教授 学生8名

缶詰クッキング ～缶詰を使っての簡単料理～

- ・火を使わないで安全にできる缶詰クッキング。作る楽しさ、食べる楽しさとあわせて普段から調理をしようとする姿を育む。
- ・ローリングストーン法(備える 食べる 買い足す)を知り、楽しみながら防災の意識を持つ。



「おにぎらず」は、ラップで海苔とご飯、具材を包み込み、直接おにぎりに触れることなく、好きな具材をはさみこんで、大きさも自由に作れます。

用意された具材は、「やきとり缶」「サバ缶」「スライスチーズ」「マヨネーズ」「ロースハム」「レタス」で、子どもたちは、よくばって多くの具材を積み重ねて、包み込みました。

キッチンばさみで二つに切ると切り口から見た目にも色鮮やかに具材が見えて、大喜びでした。



3時のおやつは「トライフル(イギリスのスイーツ)」

ビニール袋に生クリームと砂糖を入れて、思い切り振って泡立てます。みんなで交代しながら振って泡立るとクリーム状に固まり、生クリームが出来上がりました。

透明なプラスチックコップに、サイコロ状に切った食パン、チョコクリーム、パインとミカン、いちごジャム、そして生クリームを積み重ねて、「トライフル」の完成です。冷蔵庫で冷やして3時のおやつに食べました。



「おにぎらず」をおいしく食べた後、学生の皆さんと一緒に、サッカーやおにごっこでグラウンドを駆けまわる子どもたち、春の日差しをゆったりと浴びる子どもたち、元気な笑い声が響いてきました。思い切り遊んだ後、冷蔵庫で冷やしておいた「トライフル」を食べました。笑顔いっぱいの子供たちでした。

令和6年度 長野県立大学体験活動報告
10/26通明子どもプラザ
参加児童 10名
指導者 吉井助教 中山教授 学生5名

昼休みには学生の皆さんとドッチボールやレゴブロックをして遊びました。楽しい一日になりました。



【隠し味は何かな】

「これはハチミツじゃないかな」「僕はりんごジュースだと思ふな」「ちょっと甘いよね」「ハチミツのにおいがするよ」

子どもたちはカップに鼻を近づけ香りをかぎ、スプーンですくって味を確かめ、手作りナンと一緒に、隠し味「みそ、りんごジュース、ハチミツ、ワイン」の味の違いを楽しみました。

おかわいして、おいしくいただきました。

大学生と一緒に カレーとナンをつくらう！

- ◆4グループで、カレーに加える「4つの隠し味」(みそ、りんごジュース、ハチミツ、ワイン)をくじで決めて、それぞれのグループで作ったカレーの隠し味を当てることになりました。
- ◆ぶんぶんチョッパー(カッター調理器)で玉ねぎ・人参・ナス・パプリカをみじん切りにして、ひき肉を入れて煮込み、カレーを作りました。
- ◆カレーを煮込みながら、ナンの生地をこねて好きな形に伸ばして焼きました。
- ◆3時のおやつはラッシー(ヨーグルトと牛乳にお好みでマンゴorブルーベリーを加えてよく混ぜる)を作って食べました。



令和6年度 長野県立大学体験活動報告

7/30 清野子どもプラザ

参加児童 14名

指導者 萱津准教授 白澤准教授 学生9名

だれでもできる
プログラミング
メッシュ
MESHであそぼう!!!



「MESH」という教材を活用

動きや明るさの変化を感知したり、音を作ったりと異なる機能を持つ7つのブロックを専用アプリ上で組み合わせます。例えば動きを感知するブロックを壁にはり、その近くにボールを投げると音が鳴るプログラムを組んで遊びます。子どもたちは、動いて遊んで実際に試しながら「もっと面白くするには」と自ら考えていました。



発表 学生さんと相談しながら、完成させたプログラム

- ◆センサー付きのゴム風船を30回、キャッチボールすると、「おめでとうございます」の音が上がる。
- ◆お店屋さんごっこ。センサー付きのドアから入ると「いらっしゃいませ〜」、出る時には「ありがとうございました〜」の音がかかる。
- ◆センサーに感知されると、レーザービーム(音)に撃たれる。撃たれないよう(音が出ないよう)跳び越えたり、ほふく前進したりする。
- ◆ソフトチャンバラ棒でチャンバラをすると先端に付けたセンサーが反応し「シャキン、シャキン」と剣の交差音が鳴る。



- ### 子どもたちの感想
- ・動きに反応して音が鳴ったり、写真を撮ったりする仕組みを考えるのが楽しかった。
 - ・やりたかったようにプログラムできた時、とてもうれしかった。



2 放課後子供教室

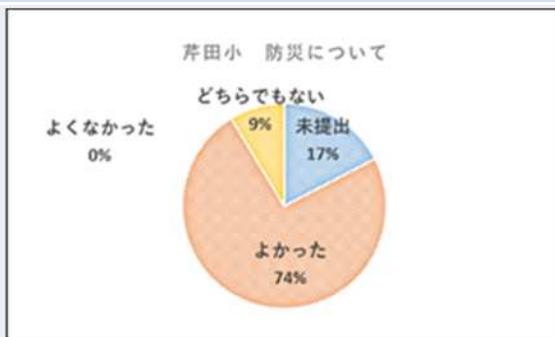
プラン施設の利用登録にかかわらず全ての児童を対象に、放課後を安全・安心に過ごしながら、多様な体験・交流活動ができるように、放課後子供教室を実施しています。

令和5年度	3校(松代小 古里小 安茂里小)で1回ずつ実施	参加者 54人
実施日時	・全校一斉下校日(水曜日)15:00~15:50 50分間	
内容	・キッズヨガ(松代小 古里小) ・ロボットを走らせよう(安茂里小)	
令和6年度	4校(芹田小 共和小 川中島小 柳原小)で3回ずつ実施	参加者 430人
実施日時	・全校一斉下校日(火・水曜日)15:00~15:50 50分間	
内容	・芹田小では同一テーマ(防災)で3回実施し、新聞紙、ペットボトルで防災グッズを作って、災害について知る。 ・共和小、川中島小、柳原小では、「①体を動かす ②作る ③見て、聞いて、楽しむ」3つの活動に子どもたちが選んで参加する。	

1 令和6年度 参加者アンケート結果 (活動別)

① 同一テーマ(防災)で3回実施

テーマ:楽しみながら防災を学ぼう! (7/3 7/10 7/17 芹田小) 参加者23人



【参加者 感想】

- ・いっぱい作れて、いろいろな災害のことを教えてもらった。
- ・もし災害があっても安心して避難できそうです。
- ・自分の未来のためになった。



1 令和6年度 参加者アンケート結果 (活動別/続き)

② 活動内容を選んで参加

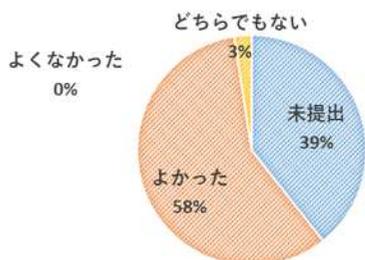
キッズヨガ	9/18 柳原小	9/25 川中島小	参加者	95人
ドッチビー	7/10 川中島小		参加者	45人
ストラップ作り	7/2 共和小	9/11 柳原小	参加者	116人
音楽とバルーンアート	7/17 柳原小	9/10 共和小	参加者	101人
外国語で遊び活動	9/3 共和小		参加者	30人
ロボットを走らせよう	10/2 川中島小		参加者	20人

【参加者 感想】

- ・ いつもと違う放課後を過ごせた。
- ・ 体を伸ばしたりするのが気持ちよかった。
いろいろな体の動かし方があって楽しかった。
- ・ 違う学年との交流にもなり、体育ではできないことが体験できて良かった。
- ・ 頑張って作り上げてきた。おばあちゃんにプレゼントできて満足していた。
- ・ 風船を作るのも楽しかったし、ハンドベルは、仕組みがすごいと思った。
- ・ 知らなかったいろいろな国の踊りやゲームができて楽しかった。
- ・ ロボットが黒い線の上を走ることに感動した。
全部黒くしたらどうなるのだろうか。

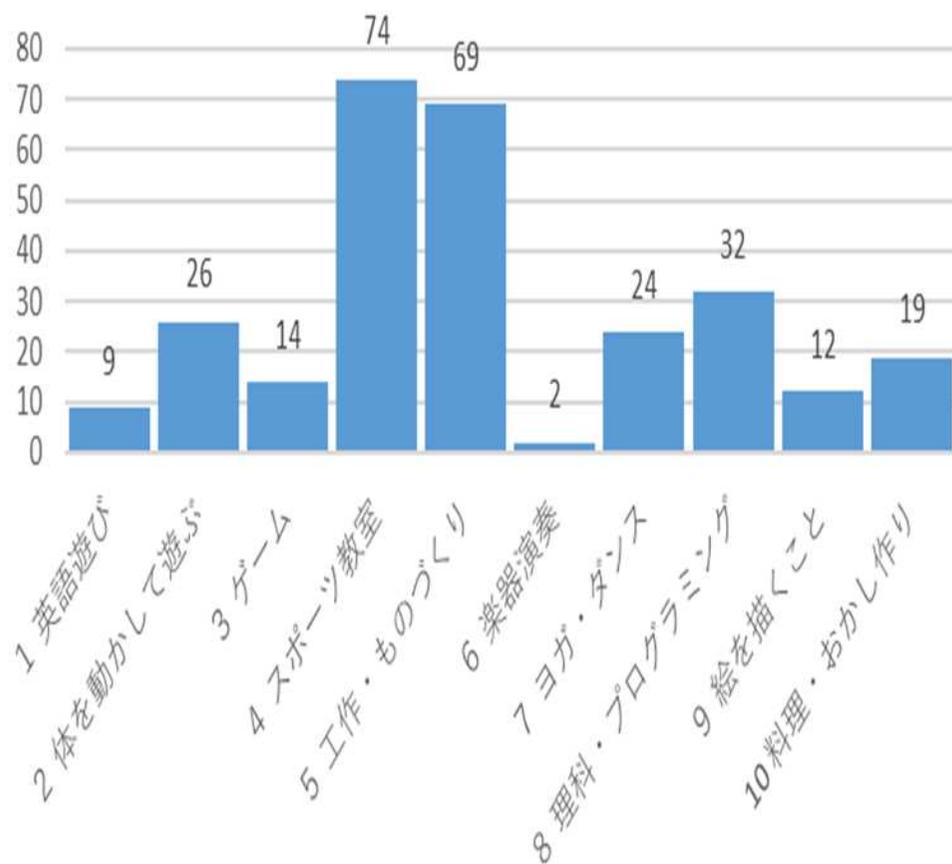


放課後子供教室に参加して良かったですか



子どもたちの意見

放課後子供教室でどんなことをしてみたいですか



保護者からの意見・感想

□放課後の企画は非常に有意義

- ・ 放課後を活用できるし、子ども同士の交流や体験から良いことづくし。
- ・ 学校から直に体験の場所へ移動ができること、保護者の送迎なくできること、家庭ではできないことが体験できて非常にありがたい。
- ・ 夕方、両親は仕事で関わってあげられないので、このような教室で夕方有意義に過ごせるのはとても良い。

□クラスだけでなく、いろいろな学年の友だちと一緒に活動ができてよかった。

- ・ 児童センターに通っていない。今日は学校に残って、友だちと一緒に遊んで、楽しく過ごせた。
- ・ いつも決まったお友だちと遊んでいるようなので、このような機会を通して、たくさんのお友だちと交流できることはうれしい。

□いろいろな体験をしてもらいたい。

- ・ いろいろな体験ができて、子どもが興味を持つきっかけになる。
- ・ いつもゲームばかりやっているので、とても良い機会と経験になる。
- ・ 5, 6年生はなかなか参加しにくい年ごろ(特に男子)なので高学年の男子でも楽しめるような放課後教室があればいいと思う。
- ・ 親も一緒に参加できると良いかもしれない。

3 課題・要望の整理と今後の実施計画

課題	<p>①全学年を対象に募集したが、参加人数が多くなりすぎた。</p> <p>②工作では、参加人数が多く、活動時間50分間は短かった。</p> <p>③ながの電子申請サービスの利用は、参加申込受付では問題なかったが、参加者アンケートは回答者数が学校に回収依頼した場合に比べて少なかった。</p>
参加者・保護者の要望	<p>①工作の時間は、少し長めにしてもらえると、低学年でもじっくり取り組めると思う。</p> <p>②参加者が多すぎた。落ち着いてできなかった。学年を分けてほしい。</p> <p>③回数を増やし、定期的に行ってほしい。(週1 隔週 月1)</p> <p>④長期休みにもやってほしい。</p> <p>⑤いろいろな体験をさせてほしい。</p>



令和7年度 実施計画(案)

- ①通常の下校時間内で実施する。
 - ・日が長い 5月～9月 または 2月～3月
 - ・全校一斉下校日(水曜日)
 - ・15:00～16:00 16:00下校
- ②定期的に行う。月に1回程度
- ③いろいろな活動を計画する。
 - ・選んで参加できる。
 - ・同一テーマで連続して参加できる。
- ④工作やドッチボールなど、全学年参加では対応が難しい場合は、学年を限定する。

<例>

 - ・低学年と高学年
 - ・連学年 1,2年 3,4年 5,6年
- ⑤登録申込方法
 - ・4月初めに開催案内・登録申込方法について、学校に配布を依頼する。
 - ・登録申込受付は電子申請を利用する。
 - ・電子申請が利用できない場合は電話で受け付ける。
 - ・登録者には、2週間前にe-mailで案内を送信し、電子申請で「参加」「帰宅方法」を確認する。

3 放課後ハイブリッド探究教室事業

1 目的

- * 子どもたちの放課後の学習体験を向上させる
- * 地域の方々と共につくる子どもたちの放課後の学びの場

2 実施方法

- * ハイブリッド探究学習

ハイブリッド探究学習のイメージ



ハイブリッド教室



- ・オンラインで熟練講師が学習体験を配信
- ・他県の子どもたちと同時にオンラインで繋がって学習内容を共有
- ・令和6年度は2週間に1回の頻度で開催



ハイブリッド教室



ハイブリッド探究学習の特徴

- オンラインで探究につながるきっかけになるコンテンツを配信する **熟練講師**
- 「聴く」だけではなく、実際に実験したり、体感したりできる **興味を引き出す教材**
- 教室では地域のボランティアが子どもたちの学習体験をサポートする **探究ボランティアスタッフ**

令和6年度 実施小学校
大豆島小学校(北部地域)、篠ノ井西小学校(南部地域)、信州新町小学校(中山間地域)
各小学校のWi-Fi環境のある教室で実施

対象学年 全学年 定員30名程度

【令和6年度実施内容】

日	対象学年	活動時間	内容
1/15(水)	全学年	15:30~17:00(下校17:10)	世界の見方が変わる、アート探究【絵画、音楽、建築など】
1/29(水)	全学年	15:30~17:00(下校17:10)	感動の涙にあふれる、算数探究【数の発明、数学の歴史など】
2/12(水)	全学年	15:30~17:00(下校17:10)	なぜ？が実験でなるほど！へ、科学探究【宇宙、元素、気象など】
2/26(水)	全学年	15:30~17:00(下校17:10)	偉人から生き方を学ぶ、歴史探究【日本史、世界史を広く扱う】
3/12(水)	全学年	15:30~17:00(下校17:10)	生命の神秘を味わう、生き物探究【哺乳類、海洋生物、微生物など】